

# 消防吏員用活動服一式 仕様書

四国中央市消防本部

## 1. 概要

この仕様は、四国中央市消防本部（以下「発注者」という。）におけるオールシーズン消防吏員用活動服一式について定める。

## 2. 総則

- (1) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (2) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。
- (3) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし納品すること。
- (4) この仕様書に疑義を生じたときは、発注者の指示を受けなければならない。
- (5) 受注者は、採寸のためのサイズ規格表と同表による試着ゲージを発注者に提出し、各人によりサイズを決定するものとする。
- (6) 受注者は、本縫製にかかる前にこの仕様書に基づいた試作品（完成品）を作製し、発注者の承認を受けること。
- (7) 記載のない部分については、メーカーの標準仕様とする。

## 3. 品名及び数量

- (1) 活動服上衣 40着

参考品：(株)イメージ製 T X9280

辰野(株)製 1326

(株)赤尾製 エミュファイターストレッチ活動服DSファイン

- (2) 活動服下衣 40着

参考品：(株)イメージ製 T X9281SP

辰野(株)製 1303

(株)赤尾製 エミュファイターストレッチ活動服DSファイン

※同等品可。上記参考品以外で同等以上の品質・機能を有する製品を提案する場合は、必ず指定期日までに発注者の承認を得ること。

- (3) 2穴ベルト 40本

## 4. 納入場所

四国中央市中曾根町 500 番地 四国中央市消防防災センター

## 5. 形式

- (1) 活動服上衣

立体裁断及び立体縫製、前中心ファスナー（衿先ジップアップ）、肩章付、脇下ベンチレーション、左右ファスナー付ポケット、袖口ファスナー付き

[配色部分…羽衿切り替え、背ヨーク、肩章(表裏)]

(2) 活動服下衣

立体裁断及び立体縫製、左上前ファスナー開き前カン式、ワンタック、ベルトループ7本付、左右脇ポケット、左右両腿部ファスナー式ポケット、左右尻ポケット

(3) 2穴ベルト

幅50mmのナイロン製で2ピンバックルをカシメ、活動服の色相に合わせたブルー若しくはネイビーとする。

サイズは、90cm・100cm・110cm・120cmから選択できるものとする。

6. 生地材料

(1) 主生地

- ア 素材：難燃
- イ 色相：紺色
- ウ 性能：吸汗速乾・ストレッチ

(2) 配色生地

- ア 素材：難燃
- イ 色相：オレンジ色
- ウ 性能：吸汗速乾・ストレッチ

7. 縫製条件

(1) 針数

3cm間で地縫い、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

鳩目穴小門止め、若しくはネムリ穴とする。

(3) ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。  
縫い糸はアラミド縫製糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

(5) デザイン

立体構造のものとする。

8. 縫製要領

(1) 上衣

ア 主衿

衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。

外衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、内衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ 前見頃

前端は表裏を突き合わせとしファスナーのムシを見せないように、衿上端から裾までダブルステッチで縫い付ける。前端裾のファスナー止まり位置に閉止めを施す。

#### ウ 肩章

副生地を使用し、巾 50 mm、長さ 150 mmで衿ぐり側は剣型とし、周囲にはステッチをかける。袖ぐり側は袖付け根に挟み、袖付け側より 40mm から 50mm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は縫い止めとする。

#### エ 胸ポケット

前身頃胸部に、ファスナー付き両玉縁ポケットを左右に付ける。ポケット口は周囲にコバステッチをかけ、両端に閉止めを施す。

左胸ポケットの内脇側に 40mm×50mm のペン差し用共地ループ（2 本用）を縫い付ける。

#### オ 階級章・個人名台座

階級台は右胸上部に 25mm×40mm の面ファスナーを取り付ける。

本部長及び名札台は左胸上部に 40mm×80mm の面ファスナーを取り付ける。

名札については、指定する文字を刺繍し付属すること。（詳細は別途協議）

#### カ 背ヨーク

副生地を使用した 1 枚仕立ての V 型ヨークとする。

後身頃は型にあった適切な位置で切り替え、前身頃は肩章前側辺りで切り替える。前後とも、切り替え線のヨーク側にステッチをかける。

背ヨーク中央に指定デザインをプリントする。（詳細は別途協議）

#### キ 脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下にベンチレーションを設ける。ベンチレーションは、袖下布を上側にして脇下布と重ねて脇線で縫い合わせ、前後身頃側にステッチをかける。

#### ク 袖

袖口にファスナーを付ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナーとし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。

左袖の肩章から 80mm の位置にワッペン用の面ファスナーを縫い付ける。

#### ケ 肘当て

不要とする。

#### コ 後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へステッチをかける。

#### サ 裾

水平型とし、三つ折り始末としステッチをかける。

#### シ 片布

前身頃裏面、胸ポケット位置に付ける。

ス 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

(2) 下衣

ア 前タック

前身頃左右のウエストにタックを各1本取り、脇側(外向き)に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約35mm入ったところをステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸とし閉止めを施す。見返し奥の裁ち目は、芯と共にオーバーロック始末とする。右下前端に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布の接ぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布の表面は表地、裏面は袋地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを付ける。ポケット口の長さ15cmとし、口の上下端に閉止めをし、口にはステッチをかける。向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ カーゴポケット

左右の両脇の適切な位置に、ファスナー付き両玉縁ポケットを設ける。

オ 後

後身頃左右のウエストにダーツを取り、後中心側に片倒しをする。

カ 後ポケット

後身頃尻部に口巾10mm、長さ140mmの片玉縁ポケット(玉縁作りミシン可)を左右に設ける。ポケット周囲にはステッチをかけ、口の両端は閉止めを施す。

キ ベルトループ

ベルトループ6本は、巾20mm×通し巾60mm(ベルト幅)でループ巾の中央に5mmのステッチをかける。後中心のループは巾幅を広くし両端には5mmのステッチをかける。ループの両端はコバステッチで身頃に縫い止め両端に閉止めを施す。

ク 内股

縫い割りし、裁ち目はオーバーロック始末とするか、若しくはコバステッチをかける。

ケ 裾

裾は三つ折り始末のステッチとする。

コ 脇縫い

インターロック始末、又は地縫いしてオーバーロック始末とする。縫い代は後身頃側に倒しダブルステッチをかける。

サ 膝当て

不要とする。

シ 各種表示

適切な位置に取り付けること。

## 9. その他

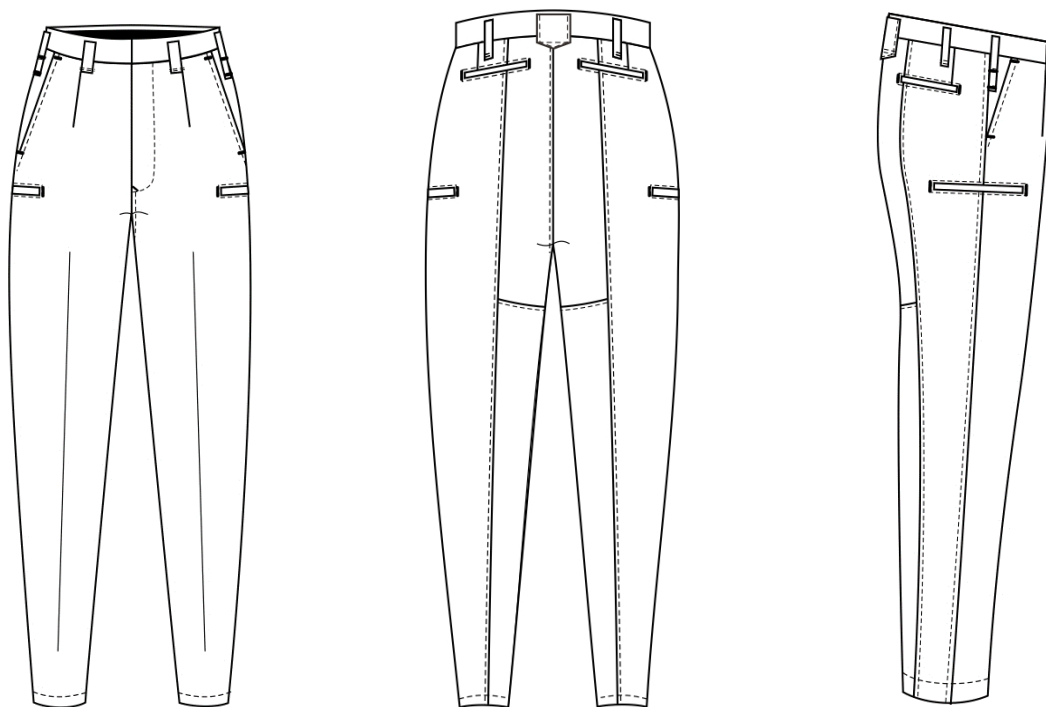
本仕様書に定めのない必要な事項が生じたときは、発注者と受注者が対等の立場に立ち協議するものとする。

参考図

・上衣



・ズボン



・プリント図

# 四国中央消防

## *EHIME*